

# 緑の福祉国家(脱成長の福祉国家)の可能性

## 「持続可能社会」 法学の樹立を展望して

### 第2回

2014年10月29日(水) 14:00時~17:00時

早稲田大学早稲田キャンパス9号館5階第一会議室

#### プログラム

14:00~14:10	趣旨説明	糊澤能生 (早稲田大学教授)
14:10~15:00	基調講演	
	緑の福祉国家(脱成長の福祉国家)の可能性 -資本主義・社会主義・エコロジーの交差とコミュニティ経済-	廣井良典 (千葉大学教授)
15:10~15:50	コメント	
	金融市場法の観点から	上村達男 (早稲田大学教授)
	医事法の観点から	甲斐克則 (早稲田大学教授)
	社会法の観点から	菊池馨実 (早稲田大学教授)
	基礎法の観点から	糊澤能生 (早稲田大学教授)
15:50~17:00	パネルディスカッション・質疑応答	

#### 本企画について

環境・金融・貧困・災害などの巨大リスクに直面した現代産業社会は、「将来世代が自らの必要を満たす能力を損なうことなく、現在世代の必要性を満たすような発展」を実現する持続可能社会へと転換することを求められています。この転換への道筋を示すことが、21世紀における各学術領域の喫緊の課題のひとつであり、法学もこの課題に直面しているといわねばなりません。

こうした問題意識から、当研究所はこの課題に有益な示唆を行ってきた内外の著名な研究者を招き、連続講演会を企画しました。既に第1回を、宗教学の権威である島藺進上智大学教授を招いて本年4月26日に開催し、好評を博しました。

第2回目にあたる今回は、「持続可能な福祉社会」「創造的福祉社会」をテーマに、ケア論や科学哲学などにわたる幅広い学識のもと、多くの研究を積み重ねてこられた廣井良典千葉大学教授をお招きし、法学の各分野との応答を試みます。多くのお客様のお越しをお待ちしています。



主催：早稲田大学比較法研究所

お問合せ先：hiken@list.waseda.jp

《事前申込不要》

アクセス

東京メトロ早稲田駅3aまたは3b出口から徒歩5分  
都電荒川線早稲田駅から徒歩5分

